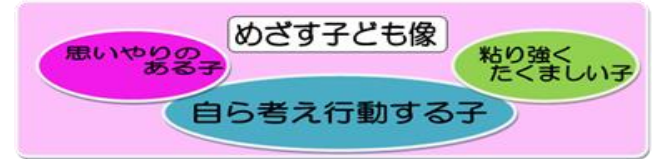




めざす学校像

互いに認め合い、高め合う学校
みんなが安心できる居心地のいい学校
開かれた学校（学校・家庭・地域がつながりあうことを大切にする学校）



① いつもここに ② のびのび 野畑 合言葉 ③ バリアフリーで 笑顔がいっぱい ④ 体験 楽しい 学びたい ⑤ 計画立てて 相談 確認

地区別分散登校2週目を迎え、子どもたちの緊張感が少し和らいできました。週2回の登校日、少しずつ学習を進めたり体を動かしたりして、学校生活のリズムを取り戻す活動をしました。

5月21日（木）に緊急事態宣言が解除され、学校の再開に向けての大阪府の方針が示されました。6月からは、学校が再開されます。どのような形になるのかは、まだ決まっていませんが、子どもたちが安心して登校できるようにしていきたいと考えています。

具体的には、豊中市教育委員会からの指示を受けてからの決定になります。決定しましたら、できるだけ早く学校連絡メールやホームページで、お知らせしますので、ご理解ご協力よろしくお願いたします。

地区別分散登校2週目（5月18日から5月22日の様子）



登校したら、まず手洗い。水道水は以前より塩素濃度が高くなっているため、石鹸でしっかり手洗えば消毒しなくても大丈夫！

1年生は、ひらがなの「あ」の学習をしました。油粘土を両手を使ってながーくのぼして、「あ」のかたちをつくりました。

① 水泳指導の中止

健康診断が実施できていないこと及び飛沫感染の恐れがあることから、豊中市では、水泳指導を全市的に実施しないことになりました。これに伴い、夏季休業中のプール開放も中止となります。

② 学校相談窓口電話 06-6849-7676

困ったときは、遠慮せず下記相談窓口担当までご連絡ください。

【学校相談窓口】

登校しぶり・子育て不安等（田中）・保健室（後藤）・事務室（許斐）
学習のおくれ・発達のおくれ等（福川）・教頭（出口）

また、本年度は、スクールソーシャルワーカー（SSW）・教育相談員（臨床心理士）・スクールカウンセラー（SC）が配置されています。専門家が校内に入ることにより、多面的に子どもたちにかかわり、困っている子どもたちに寄り添うことができると考えています。

SSWは、月4回

長期欠席・不登校の未然防止に向けて、児童生徒の変化とその背景をいち早く見立て、福祉機関との連携するために校内の「チーム支援体制」の構築をはかり、専門家の視点からの支援計画を校内委員会等で提案して校内の「チーム支援体制」のさらなる充実をはかっていきます。

教育相談員は、月2回 ・ SCは、月1回

子どもたちのカウンセリング・保護者の相談を受け付けます。希望される方は、上記学校相談窓口までご連絡ください。

③ 5月11日より下記の職員が配置されました。よろしくお願いたします。

藤沢邦子（6年生理科） 中井慶子・阿部裕行（支援担当）



2年生と3年生は、学年園で野菜の観察をしたり、種まきをしました。つつきすぎてしまうので、両手を広げて、ソーシャルディスタンスを保つ距離感を身につけます。



飲み水栓は、感染拡大防止のために、蛇口を止めて使用禁止にしています。



4年生は、運動場に広がって、去年の運動会でした野畑体操で体を動かしました。



5年生は、図形の学習をしました。えーっと、頭を抱えて一生懸命考えていました。



6年生は、コンクリート広場で写生です。素敵な作品が出来上がりました。